

## 研究発表プログラム

第1日 10月3日(土)

|             | Zoom 会議室   |
|-------------|--|
| 9:45~ 9:55  | 開会式  |
| 10:00~10:30 | ◎鈴木一生(筑波大学大学院), 小泉公乃(筑波大学)<br>米国における特別目的政府による公共図書館経営の理論的基盤                                     |
| 10:30~11:00 | ◎松井健人(東京大学大学院)<br>ヴァイマル期ドイツにおける閉架式図書館と図書館利用者研究の創始:W・ホーフマンの活動を中心に                               |
| 11:00~11:30 | ◎矢田竣太郎(奈良先端科学技術大学院大学), 浅石卓真(南山大学), 宮田玲(名古屋大学)<br>学校図書館による教材提供を支援する図書選定システムの提案とユーザインタフェースの予備的評価 |
| 11:30~12:00 | ◎東山由依(昭和女子大学)<br>日本の学校図書館における学習活動の分析:私立女子中学校を事例として   |
| 12:00~13:00 | 休憩   |
| 13:00~13:30 | ◎山田翔平(東洋大学)<br>大学の属性と大学図書館の蔵書の関係の分析:経済学分野を対象として  |
| 13:30~14:00 | ◎下野幹弥(筑波大学大学院)<br>電子書籍の価格と需要の関係に関する国際比較  |
| 14:00~14:30 | ◎吉井潤(都留文科大学)<br>新型コロナウイルス感染症対策から捉えた公立図書館のトイレ環境に関する現状調査   |
| 14:30~15:00 | 休憩   |
| 15:00~15:30 | 伊藤民雄(実践女子大学)<br>わが国における戦後25年間の図書館サービスの推移について:『図書館学文献目録』(私立大学協会, 1971)を利用して                     |
| 15:30~16:00 | 森山光良(東京大学大学院)<br>日本の広域行政の制度的枠組みへの公共図書館ネットワークの対応について:日仏米の比較制度分析を通して                             |
| 16:00~16:30 | 薬袋秀樹(元筑波大学)<br>図書館法の検討過程に関する座談会記録(1950年, 52年, 65年, 71年)の分析                                     |

第2日 10月4日(日)

|                            | Zoom 会議室 1  | Zoom 会議室 2   |
|----------------------------|---|--|
| 10:00~10:30                | 木村麻衣子(日本女子大学)<br>漢籍利用者へのインタビュー調査に基づく<br>利用者タスクおよびエレメントの抽出   | 栗山正光(東京都立大学)<br>レファレンス事例の陳腐化と追跡調査の有効<br>性:「セレンディピティ」に関する調査を例にし<br>て          |
| 10:30~11:00                | 谷口祥一(慶應義塾大学)<br>NCR2018 と RDA の記述規則の RDF データ化   | 福永智子(椙山女学園大学)<br>レファレンス協同データベースに蓄積された<br>読書相談質問の実際                           |
| 11:00~11:30                | 雪嶋宏一(早稲田大学)<br>16世紀ケルンにおけるページ付け印刷の発<br>展について  | 望月道浩(琉球大学), 金沢みどり(東洋英和女<br>学院大学)<br>日本の公共図書館の子ども読書Webページの現<br>状と課題           |
| <b>ポスター発表 (Zoom 各会議室)</b>  |   |  |
| 11:30~13:00<br>(昼食を含<br>む) | P-1: ●高橋今日子(鶴見大学大学院), 角田裕之(鶴見大学), 河西由美子(鶴見大学)/横浜市学<br>校司書を対象とした探索的インタビュー調査分析<br>P-2: ▲杉江典子(東洋大学)/レファレンス情報源の出版傾向に関する基礎データの分析:1990<br>年から2019年までの変遷<br>P-3: ◆鬼頭孝佳(名古屋大学大学院), 西田喜一(名古屋大学大学院)/「これからの図書館像」<br>の成立過程から見る図書館政策の展開<br>P-4: ●小山憲司(中央大学)/大学生による遠隔授業の評価と課題:図書館情報学教育科目にお<br>けるアンケート調査結果の分析<br>P-5: ▲カレイラ松崎順子(東京経済大学)/日本における子ども英語図書館の設立の可能性を<br>探る:釜山広域市立中央図書館別館釜山英語図書館の英語プログラムから<br><br>以下の印の付いた時間帯には必ず自分のZoom会議室に待機し、訪問者への説明の実施、質問等への対<br>応を行ってください。それ以外の時間帯は、他の発表者の発表を聴くなどしても構いません。<br>●: 11:30~12:00, ▲: 12:00~12:30, ◆: 12:30~13:00 |  |
| <b>昼 食</b>                 |   |  |
|                            | Zoom 会議室 1  | Zoom 会議室 2   |
| 13:10~13:40                | 河村俊太郎(東京大学)<br>図書館との比較からみた場としてのアーカ<br>イブズの位置づけ  | 池内淳(筑波大学)<br>公共図書館需要の移転に関する実証的分析   |
| 13:40~14:10                | 高橋今日子(鶴見大学大学院), 角田裕之(鶴<br>見大学), 河西由美子(鶴見大学)<br>横浜市学校司書の業務に関する質問紙調査<br>分析  | 松本直樹(慶應義塾大学)<br>公立図書館の指定管理者制度導入に対する地<br>方議員の認識                               |
| 14:10~14:40                | 根本彰<br>国際パカロレアにおける図書館の位置づけ<br>についての考察   | 山本順一(放送大学)<br>インターネットアーカイブ訴訟の表層と深層:<br>アメリカ著作権制度における権利者と大規模<br>デジタル化組織との利害相克 |
| 14:40~15:00                | <b>休 憩</b>  |  |
| 15:00~16:00                | <b>会員集会・学会賞等授与式 (Zoom 会議室 1)</b>  |  |
| 16:00~16:10                | <b>閉会式 (Zoom 会議室 1)</b>   |  |

※氏名前の◎は優秀発表奨励賞授与候補者です。このプログラムは暫定版であり発表論文の提出をもって確定します。

所属は教職員(常勤/非常勤)・院生・学部生等を問わず「機関名」(「大学名」)のみとしました。